

# 平成28年度 自己点検・評価表

実施日:平成29年8月23日

学校名:中央農業グリーン専門学校

## 1. 学校の教育目標

自らを高め広い視野で物事をとらえ、創造的で実践力を備えたビジネス界で幅広く活躍する人材を育てる。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ・6次産業化教育の推進

6次産業「生産・加工・流通販売サービス」の一連の流れを授業に取り入れて実践的に行う。

また、本校のオリジナル商品でもある「はたちのみそ漬け」や「はたちのコシヒカリ」等の商品を産学連携を通して実際に店舗販売も実施し販売実習等も行う。

### ・スマート農業の推進

ビニールハウス内での農業センサーや監視カメラ、ドローン技術を通してスマート農業の基礎を学ぶ。

最先端の水耕栽培や袋培地技術を連携企業より導入して学ぶ。

### ・有機認証機関との連携

奥多野有機システム委員会と連携して有機栽培を授業に更にクオリティアップし取り入れる。

### ・農業経営のイノベーション

産学連携を通して実際に「収穫感謝祭」や「校内レストラン」で生産、加工、販売を行う。

### ・地域創生とブランド化

群馬県や近隣の県での連携を行い新商品開発や新メニュー開発を通じてコミュニケーション能力豊かな学生を育成する。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
2	・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
4	・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
5	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

平成30年度に向けて、中央農業グリーン専門学校から中央農業大学校に校名変更となることが決まる。入学生に対して、カリキュラム内容や学校理解が課題となる。

② 今後の改善方策

広報担当に留まらず、職員一丸となって本学のPR活動の実施。  
県内外の高校一覧を作成し、何日、誰が訪問したか?の「見えるか」の実施。

③ 特記事項

ファーム農業経営学科は、学びながら働く実践2・4年間。農業分野の日本デュアルシステムを導入。

2 学校運営		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
3	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
4	・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1
5	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
6	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
7	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
8	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

少子化、超高齢者時代の社会状況を踏まえ、先を見据えた学科編成、学校経営を考える必要がある。

② 今後の改善方策

年に3回発行される学園新聞、食と農に関してのトピックスなどを資料請求者、卒業生、高等学校などに発信している。今後、HP・ツイッター・フェイスブック・ライン・インスタグラム・ユーチューブを活用し、幅広く情報を発信、提供していく。

③ 特記事項

広報活動において紙媒体も継続するが、IT 媒体に力を注いでいく。

3 教育活動		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			
1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
2	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
4	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
5	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
6	・専門分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
7	・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
8	・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
9	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
10	・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
11	・人材育成の目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
12	・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
13	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
14	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

学生の能力の差がある中で授業展開を如何に進めるか？永遠の課題でもあるが、各検定に挑戦し可否の結果は、一つの指標になる。

② 今後の改善方策

学生から、担任及び各科目の教師アンケートを実施継続。

③ 特記事項

そのアンケートに目を通し、学生の本質を汲み取り、次の授業展開に役立つ教育体制への取り組みを実施。又、非常勤講師との報告・連絡・懇談会の実施。

4 学修成果		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
1	・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
2	・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
3	・退学率の低減が図られているか	4 3 ② 1
4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
5	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

28年度:退学者1年次生、3名。2年次生、1名。退学率:0.0%にすることが課題。

② 今後の改善方策

出席簿で欠席が多くなると退学になる確率が高くなる。欠席の続く学生に対しては、家庭に連絡を入れ、必要に応じて学生と個別面談を、担任、学科長、教務次長、副校長とステップを踏む形で実施している。

③ 特記事項

メンタルの弱い学生もおり、山本和泉先生(キャリアカウンセラー)のカウンセラーも実施している。

5 学生支援		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
2	・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
5	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
6	・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
7	・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
8	・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
9	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
10	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

担任の業務は多岐に亘る。特に学生指導において、学生自身は勿論のこと、保護者に連絡を取って貰う。担任業務の軽減が課題である。

② 今後の改善方策

毎日の朝礼・終礼の場で、問題点の共有(報告、連絡、相談)、協力体制の下、学生対応を図る(継続中)。

③ 特記事項

保護者会は6月と12月に2回実施。同窓会は6月実施。

6 教育環境		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
2	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
3	・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

9月1日避難訓練を実施。消火器の実演も実施。その後、調理室でフライパンを焦がす事故発生。大事に至らなかったが、訓練のための訓練であってはならない。

② 今後の改善方策

ここ数年、異常気象や地震が新聞紙面を賑わせている。クラスのH.R.で、危機管理の周知徹底。

③ 特記事項

消火器の有効期限が迫っているものが見受けられた。期限切れになる前に交換。

7 学生の受入れ募集		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
2	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
3	・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

「6次産業化」を謳い広報を展開している。県立農業大学校との競合が課題。

② 今後の改善方策

18歳人口の減少、及び、農業分野：専門学校に関心のある高校生の掘り起し。

③ 特記事項

広報担当と連携を組み、高校訪問、学校説明会(オープン・キャンパス)の実施。トウモロコシフェスタ等、新たな試みを実施。

8 財務		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
3	・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
4	・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

18歳人口の減少や高等学校新卒者の就職率、進学率。特に、農業分野：専門学校に関心のある高校生の掘り起し。

② 今後の改善方策

農業分野でのデュアルシステム(学びながら働く)の構築。

③ 特記事項

平成29年度、ファームドゥとの企業連携で新学科(平成30年度スタート)を設け募集。

9 教育の内部質保証システム		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
2	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
4	・自己点検結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

自己評価の実施と問題点の改善を行っているが、満足の出来るところまでは行っていない。

② 今後の改善方策

職業実践専門課程の認定を受け、職員全員の意識は上がっており、朝礼、終礼、教務会議等の中で、気付いた箇所は改善に取り組んでいる。

③ 特記事項

学校関係者評価報告書、自己点検報告書等は、HPで情報公開実施中。更新はタイムリーに継続していきたい。

10 社会貢献・地域貢献		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
2	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
3	・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

教育訓練:フードビジネスコース(4か月間)終了。フードマネジメントコース(6か月間)が実施の運びとなる。

② 今後の改善方策

より充実した社会人教育訓練の実施(再就職率を高めたい)。

③ 特記事項

ボランティア部を立ち上げ、地域貢献を実施。次年度は、1年生が2年生になり、継続していきたい。

11 国際交流(必要に応じて)		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
2	・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
3	・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
4	・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

中央カレッジグループとして、留学生の門戸は開かさせていただいている。CAGの実績はまだ無い。

② 今後の改善方策

留学生の入学に関して、日本語能力検定2級(N2)以上の条件がある。意志疎通を図るには、この基準は遵守したい。

③ 特記事項

今後、留学生の数は増加傾向にあり、「農・園芸・調理」に関心のある日本語が話せる外国人を期待したい。